



# 粉じんのない さわやかな街に！

—12月は「脱スパイクタイヤ運動推進月間」—

スパイクタイヤは、タイヤに金属ピンを打ち込んで、雪や氷を引っかくことによってブレーキの効きめを高めたものです。その安全性や利便性から、急速に普及しました。

しかし、このスパイクタイヤは、道路を削り、粉じんを発生させることから、近年、人体への悪影響や生活環境の悪化が指摘されるようになっていきます。

## スパイクタイヤによる

### 悪影響

仙台市や長野市など、粉じんの多い都市の人々の間から、「鼻水がたくさん出る」「のどが痛い」「せきが続く」などの症状が訴えられています。また、環境庁のねずみを使った実験では、粉じんを吸ったねずみの肺に異物の沈着がみられるなど、人体への悪影響が実証されています。さらに、視界不良、粉じんによる衣服、洗濯物、店の商品の汚れや、道路のわだち掘れ、白線などの道路標示が消えてしまうという生活環境への影響も問題化され、指摘されています。

## 来年十二月には

### 製造中止

こうしたことから、国、県では、スパイクタイヤに代わるス

タッドレスタイヤの使用を呼びかけるとともに、除雪の強化や安全運転教育の充実など、脱スパイクタイヤに向けての対策を進めています。

一方、昭和六十三年六月二日、国の公害等調査委員会において、国内のタイヤメーカーと申請人との間で、平成二年十二月末日限りでスパイクタイヤの製造を中止し、平成三年三月末日をもって販売も中止するという調停が成立しました。

## 「脱スパイク」の

### 準備を怠りなく

スパイクタイヤのない社会へ混乱なく移行できるよう、私たち一人ひとりがこの問題に関心を持ち、意識を改めていくことが大切です。みんなの力でスパイクタイヤ粉じんのない、さわやかな街にしていきましょう。



# 追放！

## 生活に忍びよる覚せい剤

覚せい剤などの薬物を使用し、検挙される人たちが後を絶ちません。今年一月から九月までの、全国の覚せい剤事犯検挙件数は一万六千八百七十二件で、検挙人員は一万七千七百六十三人にもなっています。検挙人員のうち約半数は暴力団関係者ですが、残りの半数は会社員や主婦といった一般の人たちです。

警戒心を起こさずに、しかも好奇心をそそるような言い方が売人の手口なのです。十分に気をつけてください。

最近では、覚せい剤だけでなく、ヘロインや大麻などの麻薬も密輸・売買され、私たちの生活にさまざまな形で入り込み、被害が出ています。

また、これらの薬物を勧める人間は、生活が乱れている人や悩み事のある人などを狙っています。つけ入るスキを与えないようにしましょう。

## 覚せい剤・麻薬は

### 家庭崩壊の原因に

では、覚せい剤や麻薬は、どのような形で家庭に入ってくるのでしょうか。

## さりげない誘い文句に

### 気をつけよう

覚せい剤や麻薬には、疲れをとったり精力を強くしたりする効果はありません。過度の興奮状態になり、一時的な「錯覚」に陥るだけなのです。また、これらを利用して使用した場合、「だれかが自分を殺そうとしている」「天井のシミが虫に見える」などの妄想や幻覚が現れるようになります。

覚せい剤や麻薬の魔の手は、意外にも身近なところから伸びてきます。職場の仲間や遊び友達、近所の奥さんやセールスマンなどから、さりげなく勧められるケースが多いのです。

## 「疲労回復剤」「痛み止め」

「強精剤」「やせ薬」などというのは誘いの文句です。人々に

あなたの築いてきた幸せな家庭、そして健康な体を壊さないためにも、覚せい剤や麻薬などの薬物には、絶対に手を出さないでください。

